

1. 科目名 (単位数)	保育者論 (2 単位)		3. 科目番号	SSOT1401 SCOT1401 SJMP1106						
2. 授業担当教員	西脇 二葉									
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	秋期							
6. 履修条件・ 他科目との関係										
7. 講義概要	現代の経済社会・生活環境の著しい変化の中で育つ子ども達の問題を見据えて、乳幼児を保育する専門家としての役割の重要性に気づき、保育者の資質を身に付けられるようにする。家庭保育や集団保育の実践と関連して学び、どちらにおいても、子どもの気持ちを受容し、子どもと共に絶えず先の方向を洞察してふるまえる自分を育てることが必要になる。現代の子どもの育ちの危機を理解し、保育者の専門性について、子ども個々のかかわりから、保護者支援、専門職間・専門機関との連携など、様々な人間関係における協働を理解する。									
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育者の役割と倫理について理解する。</li> <li>2. 保育者の制度的な位置づけを理解する。</li> <li>3. 保育者の専門性について考察し、理解する。</li> <li>4. 保育者の協働について理解する。</li> <li>5. 保育者の専門的成長について理解する。</li> </ol>									
9. アサイメント (宿題) 及びレポート 課題	授業の学習状況に応じ小課題を課す。									
10. 教科書・参考書・教材	<b>【教科書】</b> 『生涯学習支援の基礎』学文社 <b>【参考書】</b> 『幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領』ひかりのくに									
11. 成績評価の規準と評 定の方法	○成績評価の規準 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育者の役割と倫理について理解しているか。</li> <li>2. 保育者の制度的な位置づけを理解しているか。</li> <li>3. 保育者の専門性について考察し、理解しているか。</li> </ol> ○評定の方法 授業への積極的参加態度、小課題への取り組み、レポート、小試験を適宜課し、それらを総合して評価する。 <table border="0"> <tr> <td>1 授業への積極的参加</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>2 各提出物</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>3 小試験</td> <td>総合点の 40%</td> </tr> </table>				1 授業への積極的参加	総合点の 30%	2 各提出物	総合点の 30%	3 小試験	総合点の 40%
1 授業への積極的参加	総合点の 30%									
2 各提出物	総合点の 30%									
3 小試験	総合点の 40%									
12. 受講生への メッセージ	子どもによって与えられる保育者の使命について考えながら、将来の自分の姿を想像して、理想に向かって努力して下さい。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業のルールを守る (欠席、遅刻、早退は届け出ること)。</li> <li>2. 私語は慎み、携帯電話の作動は厳禁とする。</li> <li>3. レポート等の提出日時は厳守する。間に合わない場合は、必ず本人が申し出ること (原則として書面にて)。</li> </ol>									
13. オフィスアワー	別途通知します。									
14. 授業展開及び授業内容										
講義日程	授業内容	学習課題								
第 1 回	オリエンテーション、保育者の資質とは	事前学習	自分の幼児期の体験を資料として保育者の資質について考えておく							
		事後学習	保育者の資質について体験からの自覚と理論との関連を考える							
第 2 回	専門職とは何か、保育専門職の特質と他の専門職との違い	事前学習	専門職の定義を調べ、専門性について考える							
		事後学習	乳幼児の教育・保育の専門家の特性を理解する							
第 3 回	保育者の在り方 (保育者の心構え)	事前学習	保育者としての心構えについてポイントをまとめておく							
		事後学習	保育者の在り方を確認する							
第 4 回	現代における保育者の使命と役割	事前学習	現代の子どもの生活から特に必要な役割を参考書から調べる							
		事後学習	保育者役割の具体事例として理解する							
第 5 回	保育専門職 (幼稚園教諭、保育所保育士、認定こども園保育教諭) の服務と身分保障	事前学習	免許、資格要件を調べる							
		事後学習	職務の意味を確認する							
第 6 回	保育の制度 (学校教育法、幼稚園教育要領、幼稚園設置基準)	事前学習	関連法律の予習							
		事後学習	現在の学校制度の確認							
第 7 回	保育の制度 (児童福祉法、保育所保育指針、認定こども園法、他)	事前学習	関連法律の予習							
		事後学習	現在の福祉関連制度の確認							
第 8 回	保育実践法 (子どもへのかかわり)	事前学習	事前配布資料から保育の実践事例について考えておく							
		事後学習	実践事例の再検討、振り返り課題							
第 9 回	保育実践法 (環境の考え方)	事前学習	事前配布資料から保育の実践事例について考えておく							
		事後学習	実践事例の振り返り、振り返り課題							
第 10 回	保育実践法 (保護者支援)	事前学習	事前配布資料から保育の実践事例について考えておく							
		事後学習	実践事例の振り返り、振り返り課題							
第 11 回	保育の歴史と代表的な人物 世界	事前学習	参考書から世界の保育の歴史の復習をする							
		事後学習	代表人物の思想と実践、現代への影響理解の確認							
第 12 回	保育の歴史と代表的な人物 日本	事前学習	参考書から我が国の保育の歴史の復習をする							
		事後学習	代表的人物の思想と実践、現在への影響の確認							

第13回	施設内職員の協力連携の方法、および他機関の専門職との連携の重要性	事前学習	園の組織や役割について予習をする
		事後学習	専門職間の連携の仕方についてまとめる
第14回	現代社会の生活と専門性の向上	事前学習	資料から専門性の向上の予習
		事後学習	専門性向上のための方策のレポートを提出する
第15回	自分の資質と教育・保育におけるチーム学校運営としての専門職者としての専門性習得課題	事前学習	保育者の専門性、チームとしての保育職についてまとめる。
		事後学習	今後の学習課題のまとめを提出する